カセットボンベ缶、スプレー缶の取り扱い について

事故多発しています!

平成30年12月17日に札幌市の不動産会社で、建物内でスプレー缶の処理を行った際、爆発事故が発生しました。町では、これまでスプレー缶・カセットボンベ缶は穴あけをして各種ごみの日に出すようにお願いしていましたが、4月1日より穴あけを行わず、以下の点のとおりごみ出しを行っていただきますようお願いします。

カセットボンベ缶、スプレー缶のごみ出し方法

ステップ ①

缶を振って中身の有無を確認し てください。

中身が入っている場合、**屋外の火** の気のない場所で中身を出し切ってください。

ステップ ②

音がしなくても、まだ、ガスなどの中身が残っている場合がありますので、スプレー缶の本体に記載されている中身の出し方の指示にしたがい、ガスが抜ける切るまで出しきって下さい。

ステップ ③

ゴミ分別は、スプレー缶、カセットボンベ缶、いずれも 空き缶ごみに統一となりました。

※その際、缶は穴をあけずに 中身の見える袋にまとめて、 空き缶ごみの指定袋に入れてだ してください。※詳しくは、う ら面をご覧ください。

最終確認!!

これまでは、スプレー缶→不燃ごみ カセットボンベ缶→缶ごみ ※いずれも穴をあける。



4月1日からの変更点 スプレー缶、カセットボンベ缶 →空き缶ごみへ

※いずれも穴をあけない。
ご協力よろしくお願いします。

問い合わせ先:上富良野町役場町民生活課生活環境班 電 話 45-6985

うら面有

2019.2.25 ごみの分別手引き改訂版

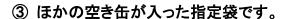
① 穴を開けていないスプレー缶やカセットボンベ缶



【ご注意願います!】

缶の中身が入った状態でごみ出しされた場合、ごみ収集やクリーンセンターでの処理作業の際、火災の原因になるおそれがありますので、必ず缶の中身は出しきるようにお願いします。

② 缶を一緒にし、中身の見える袋に入れます。 ※中身の見える袋は特に指定はありません。





④ 空き缶の入った袋③に小分けした② の袋を一緒に入れてください。



この状態にしていただき、 「空き缶ごみ」 の日にだしてください。